令和２年２月２６日　No.２２

校長室の窓から

岡崎市立常磐小学校
校長　　近藤久美子

縄跳びチャレンジ週間

縄跳び板を使って練習

縄跳びカード
初級・中級・上級・名人とステップアップ

縄跳び検定の様子

２月１２日から始まった「縄跳びチャレンジ週間」は、どの子も、どのクラスも夢中になって縄跳びに取り組んでいました。火曜日と木曜日は、クラスでの８の字跳びを行い、３分間で何回跳べるかを計測しました。その結果は次の通りです。

★最も回数が多かったクラス　５年１組　３１５回
★１回目より回数が最も増えたクラス　２年２組　　５５回⇒２０７回
★２回目より回数が最も増えたクラス　５年２組　１６２回⇒２６９回
★確実に回数を伸ばしたクラス
　１年２組（143⇒148⇒149）　２年１組（169⇒205⇒223）　４年１組（167⇒210⇒253）

縄跳びが苦手だという子も、一生懸命練習して、何度も検定にチャレンジをしていました。家でも随分練習しているという話を聞きました。こどもの家の指導員さんも「とてもがんばっていますね」と教えてくださいました。縄跳びチャレンジ週間は終わってしまっても、休み時間を利用して、練習していきましょう。「名人」昇格者が楽しみです。

そこで一句

なわとびや弧を描くリズムときれなし

今日は５年生の女の子からのうれしい便りだよ。「4年生から習っているピアノのがくふが、3さつ目にいって、とてもうれしかったです。3つ目のがくふは、ディズニーの曲がたくさん入っています。それで今は、「かれこそがかいぞく」をやっています。ページが3ページもあってむずかしいのですが、がんばります。」
俳句を作ってポストに入れてくれる子、いつもお便りをくれる子、ありがとう。　3学期もあと少しだね。

子供たちの笑顔を守るために

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。３月の卒業期を控え、子供たちが笑顔で今年度を修了することは、わたくしたち教職員の一番の願いです。

さて、国内において新型コロナウイルスに感染した事例が相次いで報告されている中、学校での感染が大変心配されるところです。校内での感染をできる限り抑えるためには、ウィルスを持ち込まないことが重要となってきます。そこで、教職員には絶対に感染しないよう努力することを確認しました。保護者の皆様には、御家庭での感染症対策のポイントをお知らせしますので、なにとぞ御理解の上、御協力をお願いいたします。

【感染症対策のポイント】

①丁寧な手洗いをこまめにする。

②せきエチケットを習慣化する。

・せきやくしゃみはハンカチやティッシュで押さえる。とっさの時は、上着の内側や　袖で覆う。（ウィルスは、細胞の中だけでしか生き延びられない）

・せきやくしゃみが出る時、他人にうつさないためにはマスクは有効であり、必要に応じて活用する。

③**登校前検温**を実施する。

・発熱等の風邪の症状が見られるときや倦怠感が続くなどの体調不良の場合は、「自宅休養」をする。自宅休養中も、毎日、体温を測定して記録する。

※子供は、感染しても症状が出にくいため、登校できてしまうことがあるそうです。体温の基準としては、インフルエンザより低いハードルで考えていただくとよいかと思います。

自分を、家族を、またみんなを守るために、コロナウィルスを広げないことが大切です。学校では、手洗い・うがいの励行はもちろん、教室の換気の徹底など、子供たちを感染から守るためにできることに全力を注いでまいります。

また、岡崎市教育委員会より提供されました別紙資料２枚を配付いたします。一枚は、「児童生徒のみなさんへ」というものです。これには、岡崎医療センターにおける新型コロナウィルス感染者の受け入れに伴い、その周辺校の児童生徒への心配な事例が発生していることについての注意喚起が書かれています。本校でも、道徳の時間や学級の時間を使い、温かい心、科学的な考え方、理性的な判断力を育てていきたいと思います。もう一枚は、新型コロナウィルスについて子供にも分かる資料ということで作られたものです。御家族皆さんでお読みいただき、感染予防に努めていただければ幸いです。

最後に、もし万一校内において感染者が出たときは、基本的にはインフルエンザの感染の時と同様に対処いたします。場合によっては、下校時刻を早めたり一斉下校を行ったりすることになります。その際は、配信メールにて御連絡いたしますので、御了承ください。いずれにしても、これから２週間が極めて重要な時期となると言われています。子供たちが毎日元気に登校してくるのを祈らずにはいられません。